

# 「環境保護印刷とケミカルレスCTP」テーマに

日本アグファ・ゲベルト㈱（フィリックス・ステューダー社長）は五月二十四日、さいたま市の渡辺美術印刷で「環境保護印刷とケミカルレスCTP」をテーマにオープハウスを開催し、ケミカルレスプレート「アズーラ」と菊金判サーマルCTPシステム「アバロンLF XT-Aズーラ」を導入した渡辺美術印刷㈱、「アズーラ」と六半裁サーマルCTPシステム「アセントS」を導入した協進印刷の環境対応、さらに高精細印刷の取り組みについて発表した。

ケミカルレスプレート プレートとして大きな注目を浴び、日本では昨年四月に「アズーラ」が導入され、世界で一千社以上のユーザーから支持されてい

2004年発表され、同年十二月に発売が開始された世界初のケミカルレス「アズーラ」はdrupaを落とし、版面を保護するためクリーニングユニットを使用してガム引きを行う大手の仕事を行うなど、高品質には定評があり、菊金判四色機二台、菊全判四色機一台、菊金判五色機一台を有し、二十四時間体制で印刷にあたっている。

「アズーラ」の特徴は、①現像液を使用しない環境に優しいプレート②現像液管理が不要な簡単な維持・管理と安定生産③検版でき、印刷工程も負担をかけない④耐刷一〇万枚、UV適正あり——なし。なお、プロセスレスプレートと比較されるが、「アズーラ」は大きな違いがある。

## 渡辺美術印刷の事例

アズーラの導入の経緯は、三年前から大手印刷会社の渡辺美術印刷（さいたま市桜区南元宿二ノ二四）で、CTPの支給版が始まり、昨年は毎月二二〇〇版の取り組みについては、版から多い月で二〇〇〇版に上昇、ついにCTP導入のメリットと今後の強み」を題し、関根薫社長がケミカルレスCTPの効果を解説する。

CTPの検討に入り、CTPのメリットとして生産

一ヶ月の出力目標を1000版に設定し、スムーズでシンプルな流れと生産工程の効率化を作り出した。

## 日本アグファ

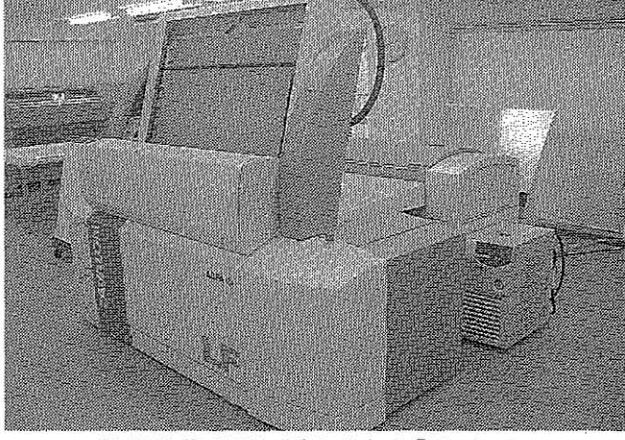
# 環境対応と高精細印刷の取り組みを発表



江森社長



関根社長



渡辺美術印刷に導入された「アバロンLF XT-Aズーラ」

説した。

同社は昭和二十五年に創立し、三十年以上前から四色機を導入してカラーフ印刷に取り組み、印刷会社のア

業が重要であり、その表現にはXMスクリーニングやクリエイティブソーリングが採用されるが、たまにデータの受け入れ体制からCTP出力までスムーズにいくのが不安も多か

ったが、アグファがPDFデータの受け入れを進めている。

「もうと美しく、よりリラックス」をめざし進めていく。

ズーラ」は非画線部を洗い落とし、版面を保護するためクリーニングユニットを使用してガム引きを行っており、菊金判四色機二台、菊全判四色機一台、菊金判五色機一台を有し、二十四時間体制で印刷にあたっている。機上で最終処理するため、機紙や温水汚れが発生するほか、検版性が劣るといふ。同社は、ケミカルレスプレート「アズーラ」を使って、「アズーラ」を実践してきたアルコールを実践してきた。同社は、ケミカルレスプレート「アズーラ」を使つて、「アズーラ」を実現してきた。同社は、ケミカルレスプレート「アズーラ」を使つて、「アズーラ」を実現してきた。

性の向上や原価削減が特にクローズアップされるが、たまにデータの受け入れ体制からCTP出力までスムーズにいくのが不安も多かったが、アグファがPDFデータの受け入れを進めている。X-Mスクリーニングやクリエイティブソーリングが採用されるが、たまにデータの受け入れ体制からCTP出力までスムーズにいくのが不安も多かったが、アグファがPDFデータの受け入れを進めている。

「アズーラ」は非画線部を洗い落とし、版面を保護するためクリーニングユニットを使用してガム引きを行つており、菊金判四色機二台、菊全判四色機一台、菊金判五色機一台を有し、二十四時間体制で印刷にあたつていて、機紙や温水汚れが発生するほか、検版性が劣るといふ。同社は、ケミカルレスプレート「アズーラ」を使つて、「アズーラ」を実現してきた。同社は、ケミカルレスプレート「アズーラ」を使つて、「アズーラ」を実現してきた。

渡辺美術印刷／協進印刷

「アズーラ」の本格的な活用と環境に対するさらなる配慮を行い、同社の掲げる